

とどろき

田検小学校だより
令和3年1月29日(金)
宇検村立田検小学校

田検小学校ならではの教育活動を！

校長 前田 和洋

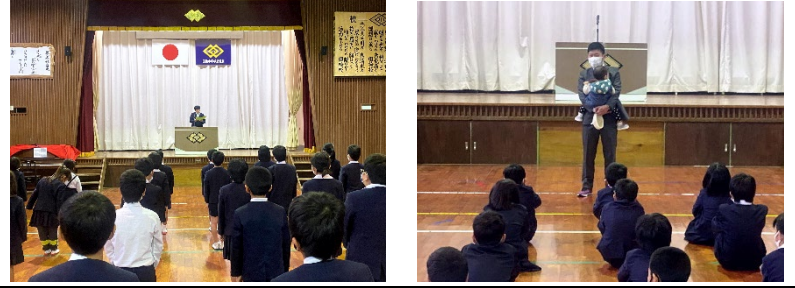
令和3年が始まって1か月が過ぎようとしています。子どもたちも生活リズムを取り戻し、勉強や運動に一生懸命がんばっています。8日(金)の始業式では、6年生の泉蒼依さんが今年の目標を発表してくれました。自分の考えを堂々と発表する姿を頼もしく感じました。他の子どもたちもそれぞれ「夢」を描きながら、目標を立て、目標達成のために色々なことにチャレンジしようとしています。

さて、昨年度から世界的に流行を続ける新型コロナウイルス感染症の影響により、学校の教育活動も様々な面で制約を受けていますが、そんな中でも時代の変化とともに、次々と新しい教育の取組が取り入れられています。この3学期中には、全児童分のタブレットが導入され、インターネットを活用した授業等が、日常的に行うことができるようになります。本校でも昨年5月の臨時休業期間中には、5年生学級でオンラインでの在宅授業を試みました。報道によると令和4年度から、小学校でも5、6年生においては、算数、理科、外国語等において教科担任(専科)制に移行する方針が示されました。今年度も数年前まではなかった、外国語活動やプログラミング教育、特別の教科道徳が教科として本校でも取り組まれています。目まぐるしく変化する社会や教育界の中で、本校の教職員も各種の研修会等で学び続け、新しい教育方法や技術を身に付け、子ども達の学力として身につくよう日々努力しています。

その一方で、私が大切にしたいのは、この田検小学校ならではの「ふるさと教育」です。島口や島唄の伝承、地産地消や郷土料理による給食指導。波静かなる焼内湾やとどろき川等地域の自然を活用したカッター訓練や観察活動、磯遊び。各集落での地域行事。これらの活動を通して、子ども達に「故郷を愛する心」と「故郷で育つ自信と誇り」を育てていけたらと願っていました。今年度は、新型コロナウイルスの影響もあり、三密をさけ、ソーシャルディスタンスを考慮して、活動の多くが中止や制限を余儀なくされました。それでも、保護者や地域の皆様、関係機関の御理解や御協力により、できる限りの活動ができたことに感謝申し上げます。今年こそは、新型コロナウイルス感染症の収束を願うとともに、新しい教育活動を推進しながら子ども達の学力を定着させ、ふるさとの自然や文化を生かした「田検小学校」らしい教育を充実させ、子ども達の「自信と誇り」を育てていくことをお誓いしたいと思います。

3学期スタート

1月8日(金)3学期が始まりました。児童代表の泉蒼君(6年生)が、冬休みの思い出と3学期の抱負を発表してくれました。また、3学期から育休に入る谷口俊彦先生がお子さんを連れて登場。育休に入るについてお話してくださいました。



心の教室

1月22日(金)、3回目の心の教室が開催されました。講師は臨床心理士の青木聡美先生。3枚の紙に今の気持ちを描きました。最後に、一番好きな絵を選んで共有しました。自分の内面に向き合って、今の自分を感じた温かで大切な時間でした。

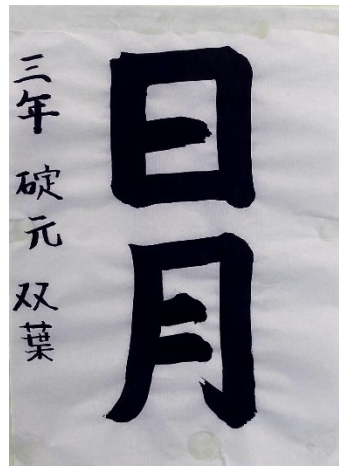
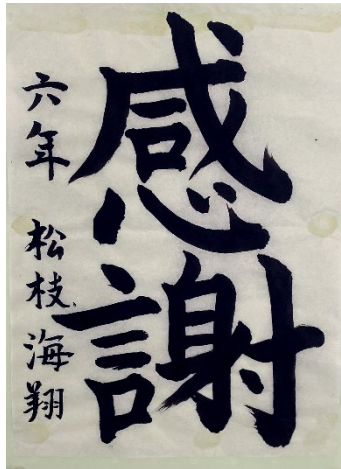


2月の行事予定

- 1日(月) 校内人権週間スタート(～5日)
- 2日(火) 小中合同研修会のため、4校時まで。
- 3日(水) 豆まき集会・委員会活動⑥
- 4日(木) かごしまジュニア検定(5・6年)
- 7日(日) 村健康づくり完走歩大会(中止)
- 12日(金) C校時 代表委員会
- 17日(木) 新1年生体験入学・入学説明会
- 16日(火) 第3回学校評議員会(12:30～)クラブ(反省)⑥
- 21日(日) 田検小 親祖先(ウヤフジ)感謝の日
- 24日(水) 授業参観・学級PTA(役員選出)
- 25日(木) 特別支援教育校内委員会
- 26日(金) 第2回村教育委員会学校訪問(午前)

輝け田検っ子！

学校給食週間



宇検村議会議長賞
6年 松枝海斗

宇検村教育長賞
3年 碓元双葉

1月7日(木)「元気の出る館」で新春書き初め大会が開催され、田検小からも20名ほどの子どもたちが参加しました。新しい年を迎え、希望に満ちた子どもたちの元気一杯の力強い字です。

宇検村議会議長賞 6年 松枝海斗

宇検村教育長賞 3年 碓元双葉

金賞
1年 碓元 希歩
4年 森山 姫衣
5年 碓元 陽衣

銀賞 6年 江上 きよか

銅賞
1年 竹下 結人
2年 杉本 栞南
前原 彩奈
3年 竹下 拓人
富山 結心
松枝 瑠渚
元田 情
中田 凜太郎
5年 碓元 瑛太
富山 桜妃
元田 晴馬



今週は学校給食週間でした。給食がいつからどのように始まったのか、奄美にはどんな食材があるか等、栄養教諭の池田先生の指導のもと、給食委員会の子どもたちがオンラインで解説をしてくれました。



パソコンの前で発表する給食委員会の子どもたち



給食委員会の発表を教室で静かに聞く子どもたち。

七ヶ宿町のお米



宇検村と宮城県の七ヶ宿町(しちかしゅくまち)は交流を続けています。しかし、今年度はコロナウイルス感染症の影響で、夏と冬の交流は中止になり、こちらからは、子どもたちのお手紙を送りました。また、村教委が、奄美の特産物もいくらか贈ったとのことでした。

そのお礼に、1月19日、村内の全児童・生徒と教職員にお米とクッキーが届きました。クッキーは、七ヶ宿町の象徴「やまばと」と奄美の象徴「アマミノクロウサギ」の形でした。今年の交流が実現することを夢見ながら、おいしくいただきます。ありがとうございました。

いじめ問題の認知と現状について

田検小では、1月現在、いわゆるいじめ問題は発生していません。しかし、文部科学省が示すいじめの認知(社会通念上のいじめとは乖離した行為「ごく初期段階のいじめ」「好意から行ったが意図せず相手を傷つけた場合」等もいじめとして認知する)を踏まえ、今後はこのような事例もいじめとして認識していじめ防止に努めていきます。その為、報告数が増えていくことが予想されます。しかし、数値が増えてもご心配には及びません。認知件数が多いことは目が行き届いていることの証と捉えています。ご理解とご協力をお願いします。